

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1219号
2011年9月4日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

◇9月の代禱・信施奉献先
▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽聖公会野宿者支援活動・渋谷の働きのため▽心臓病児保育活動のため

▽9月聖路加国際病院礼拝堂
《夕の祈り》 7日(水) 18時半、オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者|| ジョナサン・ウオーラーズ。入場無料(会場献金)。

▽9月ランチタイム・オルガンコンサート *聖パウロ|| 9日(金)、西本願子 *聖テモテ|| 20日(火)、深井李々子 *神田キリスト|| 21日(水)、岡本桃子 各々12時20分から30分程度、入場無料。

▽JOCS (日本キリスト教海外医療協力会) 50周年記念チ

ヤリテイ映画会「父と暮せば」

16日(金) 15時・19時、日本橋公会堂。カトリック東京大司教区、日本基督教団東京教区、日本聖公会東京教区などの後援で行う。「使用済み切手」も受付。照会・申込TEL 03(3208)2416・同会。

◆とこしえの平安

7月14日 松井 健彦(93)

「いっしょに歩こう」

支援募金累計額(7月31日現在)

2千3百51万4千425円

聖ガブリエル

柳川 穎 (87)

7月19日 神田キリスト

7月23日 木村カネ子(86)

7月24日 小平 晶(65)

聖愛

今週・来週の予定
9月4日~17日

4 (日)	聖霊降臨後第1主日 主教巡回 東京聖マリア教会
5 (火)	分担金制度特別委員会
8 (木)	貧困問題P 信仰と生活委員会 教財務サービス委員会
9 (金)	外濠牧師協議会 広報委員会 教役者待遇調査委員会
10 (土)	聖霊降臨後第1主日 聖愛教会
11 (日)	信仰と生活委員会 子ども聖歌創作委員会
12 (月)	小平墓地委員会議 小礼拝音楽委員会議
13 (火)	城南牧師協議会 環状牧師協議会
14 (水)	宣教協議準備会
15 (木)	下町牧師協議会
16 (金)	

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

教会に連なる保育園として、築60年を経た非常に古い園舎を新築するため、昨年の5月に仮園舎に移りました。そして3階に教会のある新園舎へと引越しが完了した2週間後に東日本大震災が発生したのでした。震災当日は帰宅困難で通常の時間に迎えに来ることでできない保護者が多くいました。チャプレンが夕食を用意し、夜遅くまで残った子どもたちと食事を共にし、最後の子どもを迎えが来た深夜まで牧師館で過ごし、私を含めて帰宅できない数名の職員はそのまま牧師館に泊まりました。翌日はチャプレン、園長、主任の判断により、予定通り卒園礼拝が行われ、新しい教会のチャペルで卒園生を送り出すことができました。保護者にとっても、また、

神によって決められた「時」

保育園を行う私たち職員にとっても、忘れられない式となりました。それと同時に、神様に守られている保育園としての本質的な意味について、改めて思いを馳せる機会にもなったのです。私たちは、神様によって決められた「時」の中に守られています。家庭の中で過ごししてきた子どもたちが生まれる中で過ごしてきた子どもたちが生まれて初めて接する社会、思考の原点となるのが教会保育園としての役割なのではないでしょうか。その「時」が神様によって与えられることが、月島聖公会に連なる人々の長年の願いでもあります。職員の自己主張がはつきりしており、意見のぶつかり合うこともあり、時が流れて振り返ると、全ては神様のみ手の中で動かされていることを感じるのです。

(月島聖ルカ保育園保育士)

◇2011年教区フェスティバル実行委員長代行 中川英樹司祭へ委嘱(8月18日)

◇第116(臨時)教区会報告

教区会は、7月23日(土)9時より聖餐式をもって開始された。続いて、聖アンデレホールにおいて、大畑喜道教区主教の開会演説。教役者議員44名中39名、信徒代議員71名中69名の出席で、聖公会八王子幼稚園事業を新設立学校法人へ移管する関連案件の審議が始められた。学校法人化により聖公会八王子幼稚園の運営強化と教育事業内容強化を望んだ今回の案件であり、活発な審議が行われた。主なものは①キリスト教教育と教育基本法、学校教育法との緊張関係を指摘する意見②理事構成

員の中にキリスト者もしくは聖公会信徒の条項を入れる提案③教区に対して収益事業あるいは宣教活動に於いて収支損が出た場合、教区との関係について問う声も出された。

議案は多数決で採決、賛成多数により提出された3議案すべてが可決された。

第1号議案Ⅱ聖公会八王子幼稚園の事業を移管する件 第2号議案Ⅱ聖公会八王子幼稚園の財産を無償譲渡する件 第3号議案Ⅱ土地を無償貸与する件

これにより、同幼稚園は2012年4月1日付で新しく設立される「学校法人光の子ども学園(仮称)―(理事長Ⅱ大畑喜道主教)に移管される準備に入った。議事は30分延長し、12時

30分終了。祈祷・頌栄をもって散会した。

正義と平和協議会

運営委員会報告(7月23日)

*「広島平和礼拝」は東京教区から3名参加予定。

*8月初旬「平和メッセージ」、9月発行の「協議会たより」に大震災報告会の内容を掲載することを確認。(書記)

◇教区フェスティバル「祈ろう、ともに」 9月19日開催。第2回連絡会が3日に行われた。

▽聖公会「手話」関係者のつどい 9月18日(日)～19日(月・休)、広島復活教会。冠婚葬祭シリーズ第2回葬送式。申込期限Ⅱ10日。費用・申込等詳細照会Tel03(3996)7980・小川加代子。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】92

沖縄週間／沖縄の旅に参加して

6月17日～20日に行われた、「沖縄週間／沖縄の旅」にワイフと共に初めて参加しました。県外からは計39名(内7名が司祭)が参加しました。私は沖縄に住んだことはありませんが、亡父が那覇出身で苗字が地名として残っています。今回の旅では、日米間の懸案事項となつている米軍海兵隊の「普天間基地」と、その移転先予定地の辺野古沖」および、新型オスプレイの訓練基地に計画されている、「高江ヘリパッド」の現場を見学しました。そこでは、多くの地元民が体を張って基地返還運動に取組んでいる姿を知り、心

を打たれました。

また、映画鑑賞会では、貧困層若者を殺人兵器に洗脳していく米軍海兵隊の訓練の様子が紹介されました。更に、慰霊の日の記念行事が北谷諸魂教会で行われ、合同礼拝では平和の礎に今年新たに刻まれた205名に対して祈りを捧げました。その後、大韓聖公会司祭の李在禎氏による「東アジアの平和と沖縄に対する思い」という講演を聴き、ツアー参加者による交流会が設けられました。今回のツアーを通して、地元の司祭・信徒を始め、本土からの他教区司祭・信徒の方々と知り合うことができ、とても学びの多い有益な体験となりました。

多くの米軍基地を弱者に押し

付け、その恩恵だけを本土が享受する構造は、正に原発立地に類似しています。米軍基地が沖縄に集中することは、有事の抑止力となるのではなく、最初の攻撃対象となることを意味しています。太平洋戦争では沖縄が唯一の地上戦の場となり、多くの県民が犠牲となった悲惨な歴史を忘れてはいけません。日米安保条約が現在では日米軍事同盟へと変質し、その負担を沖縄に強いています。本土の人々はその現状を認識しているのでしょうか? 沖縄の地は、日本とアジアの平和問題を実地に学べる場所であることを、改めて実感しました。

三光教会信徒

安次嶺 昭男